

## 世界初の心療内科を創設された 池見酉次郎先生に1996年から1999年まで 顧問になって頂きました



平成8年9月 故・池見酉次郎先生と星山慶子

### ■池見酉次郎先生プロフィール

九州大学名誉教授(1915年生～1999年没 享年84歳)

1915年 福岡県生まれ。

1941年 九州帝国医学部卒

1954年 北九州市小倉病院院長  
(最後は名誉院長となる)

1963年 日本初の「心療内科」を創設

1988年 勲三等旭日中綬章受賞

1992年 スイスにて国際ストレス学会より  
ハンス・セリエ賞を受賞。

1992年に国際ストレス学会よりハンス・セリエ賞を世界で4番目に受賞された池見酉次郎先生から、アクアセラピー水の統合療術に対しては、「脳を整える効果的な手段だ」との評価を頂きました。

「ハイテク社会の中で、家庭や社会の混迷が進み、自然破壊がエスカレートしている今、身体的にも精神的にもストレスを感じる人が増えています。

慢性的な運動不足やアルコールの飲みすぎなど、自己破壊的なライフスタイルを続けていると、本来聞こえてくるはずの身体の不調を訴える命の声も聞こえなくなります。

人間として当然備わっている人間らしい感情や、自然を感じる心も無くしてしまいます。

これは大きな問題で、全ての病気、身体の不調、自律神経の乱れなどの心の不調も、**元を正せば、脳が不調だと言える。**

さらに、あなたが生理的、社会的に健康な状態を望むのならば、人の身体と心の働き、社会や自然への対応などを総合的に支配している**『脳の働き』を調えることです。**」とおっしゃっていました。